

# 会派調査(研修)報告書

NO.

令和 7年 6月 5日

胎内市議会議長

八幡元弘様

(報告者) 会派名 緑風会

会長 渡辺宏行

会派調査(研修)について、

議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 令和 7年 5月 28日 至 令和 7年 5月 30日 2泊 3日 (3日間)	調査・研修 場所	① 熊本県菊池市 ② 福岡県那珂川市
調査・研修 事項	① 熊本県菊池市 生涯学習センターKiCROSSについて ② 福岡県那珂川市 五ヶ山クロスについて		
調査・研修 出席者(参加者)	副会長 渡辺秀敏 幹事長 笈智也 会計 増子達也 渡辺宏行 坂上清一 八幡元弘		
相手方(対応者)	① 熊本県菊池市 生涯学習センター センター長 吉川良二 図書館 館長 松寺盛親 図書館 副館長 長尾美穂 生涯学習課 課長 川口克明 議会事務局議会係 参事 右田一樹 ② 福岡県那珂川市 地域振興課 課長 米沢 地域振興課 観光・まちづくり担当 森山亮之 地域振興課 観光・まちづくり担当 福島祥		

## 調査の結果または概要

### ① 熊本県菊池市 生涯学習センターKiCROSSについて

本施設は図書館・公民館が一体となった施設であり、地域に開かれた「学び・交流・連携」の拠点として様々な課題解決や地域づくり、人材育成、文化振興に貢献していくという目的で2017年12月に開設されている。総事業費は22億900万円。直営で運営している。1階が図書館で蔵書数は15,000冊。令和5年度の利用者数は117,854人である。こども図書館のスペースには、授乳室、ベビーベット、おはなしの部屋などがあり、安心して利用することができる。通常のスペースには視聴コーナー、インターネット席、対面朗読室、学習室(31席)、グループ学習室等が設置されている。2階が公民館になっており、研修室、工作室、視聴覚室、和室、調理実習室キッズルーム、多目的室等充実した機能を有しており、令和5年度の利用者数は62,211人である。多目的室の利用が一番多く、月80回程の利用がある。初めに施設内を見学し、引き続き会議室にて概要の説明を受け、質疑応答を行った。

### ② 福岡県那珂川市 五ヶ山クロスについて

背振山系の豊かな自然環境を有する五ヶ山にアウトドア・アクティビティの拠点として2019年3月にオープンし、設計を担当した(株)モンベルが指定管理で運営している。整地は県が行い、設備の工事費は5億4,000万円であり、水源地域対策特別措置法に基づく基金を活用しているため、市の負担は8,000万円である。隣の佐賀県吉野ヶ里町とも連携しており、令和6年度の来場者数は16,517人である。常設テントの他にテント持参のスペースや愛犬と一緒に泊まることのできる囲まれたスペースもある。シャワー室や電源も利用することができる。キャンプ用品のレンタルもできる。キャンプ場内を見学しながら説明を受け、都度質問を行った。

## 調査の所見・感想

### ① 熊本県菊池市 生涯学習センターKiCROSSについて

整備計画が2013年度に挙がり、ワークショップを4回実施した結果、市民の声を反映させ基本設計素案を変更している。2014年度に「菊池の図書館を考える会」が発足し、この会と毎月意見交換を行っていた。市民や有識者でつくる市民検討委員会も4回行っており丁寧に市民の意見に耳を傾けていると感じた。2015年度に準備室が発足し、2017年12月に市役所近くに開設している。計画が挙がってから約4年で開設している。市民の願いに真摯に応える行政の在り方を再認識した。

### ② 福岡県那珂川市五ヶ山クロスについて

雄大な自然の中で、アウトドアを体験しながらリフレッシュを図ることは多くの方々の願いでもある。同拠点は総合的なキャンプ場として様々なニーズに応じたスペースがあり、特に愛犬と泊まることのできるスペースは助かる。年間を通じて利用でき、土日は常に満杯とのことであつた。キャンプ用品のレンタルもあり、気軽に訪れることができ、バーベキューも可能である。憩いの場として非常に重要な役割を果たしていると感じた。